

バスケットボール

全国高校選手権県予選

バスケットボールの全国高校選手権兵庫県予選（神戸新聞社後援）最終の決勝は報徳が103-

74で育英に大勝し、2年連続3度目の優勝を飾った。女子決勝は市尼崎が80-53で三田松聖に快勝し、3年連続6度目の頂点に立った。  
3位決定戦の男子は村野工が50-47で神戸科に出場する。

【報徳】	尾山岡一	浦井村木	宮津頭藤多	瀬本	計	103	738	620	20
【育英】	家平野	尾村野	島多木	中喜佐	計	74	523	1316	
得点	11	5	3	1	2	1	1	1	1
シュート	10	11	10	10	10	10	10	10	10
成功数	3	1	1	1	1	3	2	1	1
リバウンド	2	3	4	4	4	1	1	1	1
スティール	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ブロック	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ファウル	1	1	1	1	1	1	1	1	1
タイムアウト	1	1	1	1	1	1	1	1	1

男子決勝・報徳一育英 第2クォーター、ドリブルで攻める報徳・丸山

# 報徳 男子 完勝のV2

## 夏の全国4強、力発揮「日本一狙う」



インターハイ4強の報徳合で格下チームに屈したことは、男子決勝で育英に完勝。ともあった。だが課題を見優勝インタビュで田中コ一チは「伸び伸びと力を発揮してきて、言うことなる練習を重ねたほか、コンゴローだけに頼らず攻撃のスクリーンプレーを仕掛けた。ウインターカップで兵庫の相手素早く交換し、相手スコアラーの3点シュートを阻止。あえてドライブさせ、シュートは身長208センチのコンゴローがブロックした。夏の全国舞台で実績を挙げながら、その後の練習試合と宣言した。（藤村有希子）

スクリーンプレーを仕掛けた。ウインターカップで兵庫の相手素早く交換し、相手スコアラーの3点シュートを阻止。あえてドライブさせ、シュートは身長208センチのコンゴローがブロックした。夏の全国舞台で実績を挙げながら、その後の練習試合と宣言した。（藤村有希子）

高校最後の全国舞台を逃し、福家主将は「この悔しさを糧にリベンジしてほしい」と後輩に託した。（藤村有希子）

愛知の実力校、中部大第一と練習試合をするなど外国人留学生対策もしたが、この日は報徳のコンゴローをリングに近づけまいと意識するあまり、他が手薄になることも。攻めては得意のスクリーンプレーがなかなか実らず、福家主将と下田平が厳しくマークされた。

男子決勝で2年ぶりの王座奪還を狙った育英は報徳に歯が立たず、沼波コーチは「実力と経験の差」と認めた。

報徳	103	74	育英
村野工	50	47	神戸科
▽決勝			
18233032	8181212	23211416	196913